

平成28年度進行管理・評価シート
恵那市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）
（最終変更平成29年3月23日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実現のための体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重要伝統的建造物群保存地区での取り組み	2
2 景観形成に関する取り組みについて	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 岩村城石垣修理事業	4
2 岩村城下町まちなみ保存事業	5
3 岩村城登城道整備事業	6
4 祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)	7
5 歴史的町並み修景整備助成事業	8
6 ポケットパーク整備事業	9
7 道路美装事業	10
8 中山道保存修景整備事業	11
9 案内板設置事業(宿場町大井地区)	12
10 ふるさと文化普及継承事業	13
11 明治天皇大井行在所整備事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	15
2 文化財の防災	16
3 文化財の普及・啓発	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 (報道等タイトル名)	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史・文化に対する住民意識の向上	19

□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

①計画に記載している方針(様式2-1)	20
---------------------	-------	----

□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

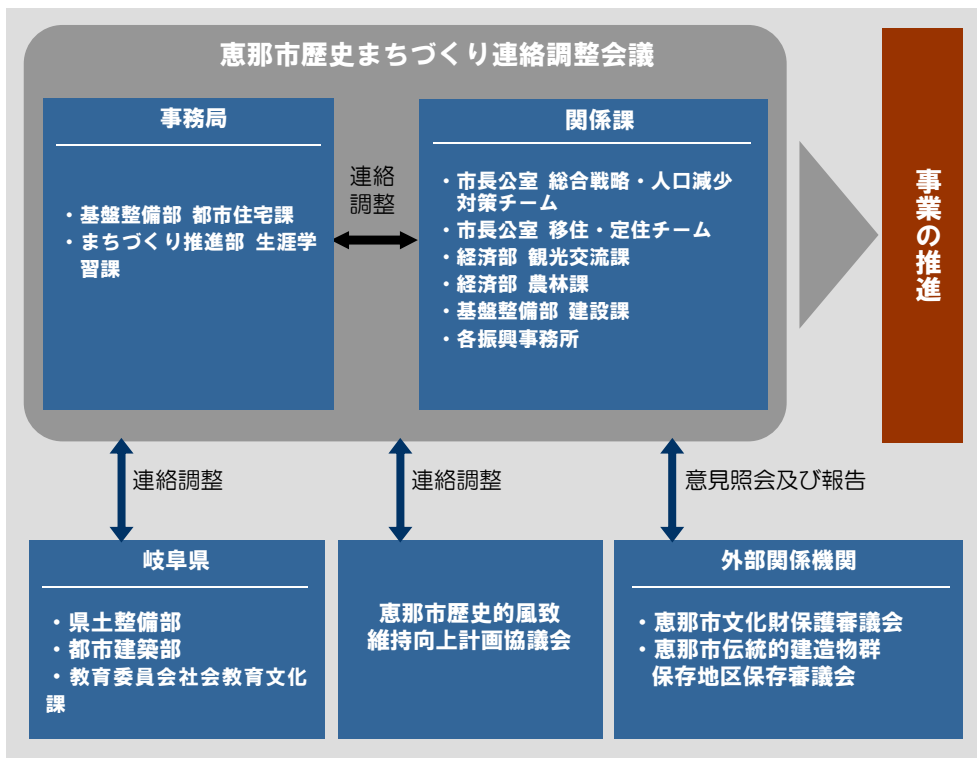
①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)	28
---------------------------	-------	----

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	31
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
計画実現のための体制			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	歴史まちづくり事業は、歴史、文化、観光、建設、都市整備等の多岐の分野に関連するため、本市では「歴史まちづくり連絡調整会議」を設置し、関係課(事業担当部課)間の横断的な連絡調整を行うものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市住宅課・生涯学習課等関係課から構成される「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間との連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会については、平成28年7月1日に実施し、事業の評価報告及び今年度当市で開催した「中部歴史まちづくりサミット」の報告等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



協議会の様子



恵那市歴史的風致維持向上計画協議会
 平成28年7月1日開催
 議題:
 ・平成27年度進捗評価の追加について
 ・中部歴史まちづくりサミットについて
 ・都市再生整備計画事業について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区での取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 重要伝統的建造物群保存地区に選定(平成10年4月)されている岩村町の商家町について、積極的に歴史資源として保存や活用を行ってきた。
 岩村町全体のまちづくりに関わる組織である「城下町ホットいわむら」は、本町通りにおけるさまざまなイベントの企画・実施を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存地区内の建物で現状変更を行うときには、保存計画に定める方針・基準に従い、岩村城下町まちなみ保存事業を活用しながら実施している。また必要に応じて文化庁及び県教育委員会の指導、助言を受けている。平成28年度は5件の修理補助を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

修理前



修理後



修理前



修理後



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
景観形成に関する取組について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 景観法に基づく景観計画の策定に向けて、平成20年度より庁内関係部課、学識経験者及び地域住民等で構成する景観計画策定委員会にて恵那市全域の方針や規制の検討を行うとともに、平成21年度からは、地域住民等で構成する地域ワークショップの開催等を通じて地域毎の景観の形成に関する基本方針や行為の制限について併せて検討を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

恵那市景観条例、恵那市景観条例施行規則は平成24年4月1日施行済みである。行為の届出に関するこの規定は、平成24年10月1日から施行している。
 平成28年度の行為の届出件数は、事前協議件数 29件、届出件数 28件(平成29年2月28日現在)があった。
 景観審議会では、平成27年度に審議済みであった景観重要樹木について、平成28年6月1日付けで指定し交付式を開催した報告や、新たな景観重要樹木候補2件に関する審議等を行った。
 ・恵那市景観審議会 平成28年6月29日、平成29年3月28日開催
 平成28年4月1日から恵那市屋外広告物条例を施行した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

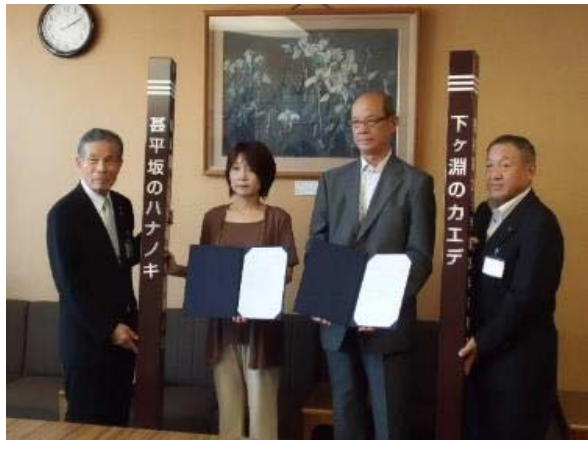
■恵那市景観審議会
 平成28年6月29日開催
 審議事項:
 ・屋外広告物部会員について
 ・景観重要樹木の審査について

 平成29年3月28日開催
 審議事項:
 ・景観重要樹木の審査について(継続審議)
 ・景観形成基準の運用実績と今後について
 ・太陽光発電設備の開発案件について



景観審議会

■恵那市景観樹木指定
 平成28年6月1日
 指定第1号 甚平坂のハナノキ(大井町)
 指定第2号 下ヶ淵のカエデ(明智町)



指定交付式の様子(指定通知書と標柱の交付)

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
岩村城石垣修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成31年度

支援事業名 主要観光資源誘客強化事業
市単独事業

計画に記載している内容
 標高717mの急峻な山の頂に築造された近世山城の代表・岩村城を支えてきた石垣である。これまで修理が行われてきたが、木根や流水等によって石が浮いたり、孕んだりしている箇所も見られ、一部、崩壊の危険性の高い箇所も見られる。
 本石垣は、本丸等が無くなった現在においても、城下町の形成と発展を牽引してきた岩村城の基礎として、地域の歴史を語る大きな拠り所となっている。当事業により石垣の修理を行うことで、地域の歴史的風致の維持を図ることができる。
 事業概要：発掘調査の後、崩壊の危険性の高い石垣の修理(対象面積：約300㎡)。石垣支障木の伐採。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域のボランティアによる草刈り・清掃作業の際に、石垣に生えた雑草等の除去を実施した。
一之門近くのエリアの間伐を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○：平成28年度 間伐実施箇所



地域のボランティアによる石垣の草取り



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
岩村城下町まちなみ保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

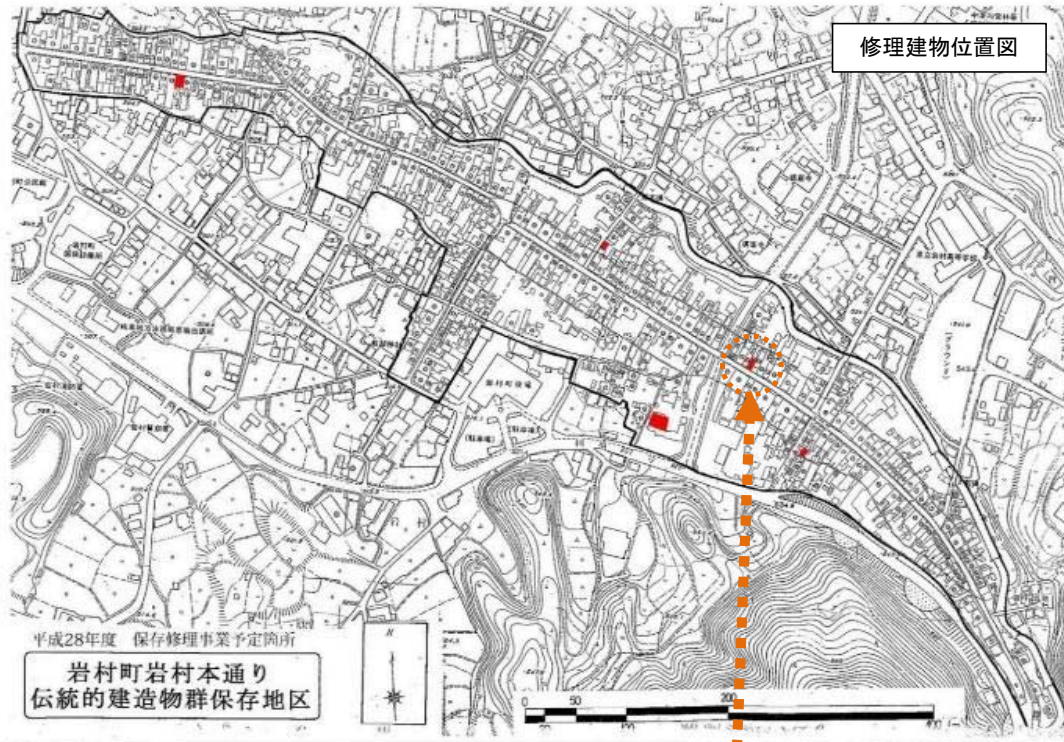
事業期間	平成22年度～平成31年度
支援事業名	国宝・重要文化財等保存整備費補助金 市単独事業
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物に対し、修理修景に助成を行うことにより、後継者不足や修理費用の負担、また火災等の災害による歴史的建造物の滅失・荒廃といった課題を解決し、歴史的建造物を保護することで、歴史的風致の維持向上を図る。 事業概要：重要伝統的建造物群保存地区内の家屋の保存修理、防災事業等。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的建造物5件の修理修景に助成を行った。
主な家屋修理内容(主屋の葺き替え、軸組の部分修理、外壁の修理)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
岩村城登城道整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成26年度～平成31年度
支援事業名	主要観光資源誘客強化事業 市単独事業

計画に記載している内容	・岩村城への登城道及び付近の修景整備 ・案内標識の設置 ・ベンチの設置等
-------------	--------------------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域のボランティアによる、登城道周辺の草刈・清掃作業に対して、清掃費用の助成を行った。
 今年度は、岐阜県の主要観光資源誘客強化事業を活用し、登城道から出丸広場の未舗装部分の路面舗装及び出丸広場のトイレに浄化槽の設置、登城道に案内看板を設置した。(案内看板 16、距離案内看板 8、CG案内看板 4、岩村城跡案内図 1)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

登城道環境整備風景



登城道 距離看板(左)・案内看板(右)



出丸広場舗装 施行前



出丸広場舗装 施行後



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 毎年10月第1週の土曜日から日曜日にかけて行なわれる「岩村町秋祭行事」は、岩村城を築いた加藤景廉の子である景朝のご神体を神輿に乗せ、時代衣装を身にまとった総人員約300人が長さ300mに及ぶ行列を整え武並神社を出発し、岩村町本通り(重要伝統的建造物群保存地区)約1.7kmを練り歩き、景廉が祀られている八幡神社に運ぶ。翌日、神輿は再び行列によって武並神社に帰る。行列の役割・内容などは、嘉永5年の「武並宮御祭礼規定」にある次第から変化しておらず、行列中の御神馬に使用する飾馬具類は、天保の頃のものを使用されていることから傷みが目立っている。祭りに使う衣装類の計画的な整備を行うなど、地域で長年受け継がれている伝統行事を支援することで、歴史的風致の維持向上と地域住民の景観形成や歴史文化に対する意識の向上を図る。
 事業概要: 岩村町秋祭行事の祭礼衣装等の整備。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祭具・衣装の修理については、祭具修理・交換と不足分の補充、衣装修理・交換と不足分補充を行った。また岩村町秋祭行事の行事運営について助成を行った。
 秋祭行事で演じられる岩村獅子舞の保存活動を行う保存会に対して伝承活動助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

岩村町秋祭行事 神輿渡御行列(みこしとぎょぎょうれつ)



打ち囃子



獅子舞は中部歴史まちづくりサミット(交換会)でも披露された



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
歴史的町並み修景整備助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)市単独事業

計画に記載している内容
 中山道の宿場町としての面影を残す大井宿周辺の建造物等について、所有者等が行う修復・修景事業の一部を助成し、町並み景観の向上を図り、連続性を向上させ歴史的風致の維持及び向上に寄与する。
 事業概要:宿場町大井地区内の大井宿周辺の建造物等について、平成24年度に建造物の悉皆調査とガイドラインの作成を行う。平成25年度から、ガイドラインに沿って、建造物等の修復・修景事業に対して助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

これまで議論されてきた明治天皇大井行在所の修景・改修は、個別事業(明治天皇大井行在所整備事業)とした。庁内関係部署で検討した結果、修景修復事業の助成要綱やガイドラインについて、地元のニーズを調査するためのアンケートを実施することとなった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 平成29年度は、地元でアンケート調査を行い、修景ニーズを把握。ガイドライン等の策定につなげる。

状況を示す写真や資料等



庁内関係部署打合せの様子



現在の大井宿の町並み

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

Table with 2 columns: 項目 (Pocket Park整備事業) and 現在の状況 (Implementation status: 実施済, 実施中, 未着手).

事業期間: 平成25年度～平成29年度
支援事業名: 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)市単独事業
計画に記載している内容: 宿場町大井地区内の中山道沿道の空き地となっている土地の中から土地を取得し、ポケットパークとして整備する...

進捗状況 ※計画年次との対応: 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

中山道宿場町大井地区整備意見交換会(ワークショップ) ニュースレター. Includes meeting objectives, progress, and future workshop goals.

現地確認結果のまとめ. Summary of field survey results for A, B, and C groups, including photos and discussion points.

中山道宿場町大井地区整備意見交換会(ワークショップ)の内容を伝えるニュースレター

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
道路美装事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)市単独事業

計画に記載している内容
 宿場町大井地区内の中山道は、石畳による道路整備や道路美装が行われているが、経年劣化に伴い大変傷みが進んでいるため、建造物の修景と併せて道路美装を行う。このことにより、歴史的町並みの景観の向上を図り、歴史的風致の維持向上を図る。
 事業概要: 昭和62年に大井宿内中山道についての石畳化事業が行われた。中山道を石畳化することにより大井宿の特徴である枡形の遺構を明確化するものであったが、枡形全てが石畳化されておらず、中山道がどこであるのか非常に分かりにくい状況である。また石畳についても老朽化しておりアスファルトの埋め込みで補修している箇所がたくさんある状況である。
 中山道を明確化するとともに、来訪者や住民が安全に散策できるようにするため、道路美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

庁内での協議の結果、舗装工法は中山道の統一とランニングコストを重視し、ロードアスファルト舗装と決定した。H29年度からの工事に向け、設計業務を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 水道老朽管更新工事との整合を図り、工事箇所・時期等は上下水道課と調整をとり実施していく。

状況を示す写真や資料等

舗装イメージ(ロードアスファルト工法)



現在の状況(整備前)



明治天皇大井行在所前

整備後のイメージ図



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
中山道保存修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 中山道は、江戸時代の五街道の一つであり、大湫(瑞浪市)以東、藤村・竹折村・久須見村四ツ谷・中野村を経て、美濃十六宿の一つ大井宿に至り、ここより茄子川・千旦林を通り中津川宿を抜ける。この行程中、中野・大井あたりは平坦地で、通行する幕府や諸藩の諸荷物や参勤交代行列、一般の人馬の宿泊・休憩所として賑わった。現在も中山道は来訪者が多く訪れ非常に親しまれている街道であるとともに、七日市や渡御行列が行われる重要な場所でもある。この中山道を良好に保存し環境整備をすることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。
 事業概要: 中山道沿線の草刈り、利便施設の維持管理に対する助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地区内の中山道及び沿線の利便施設(甚平坂公園、西行苑、深萱休憩所、四ツ谷集会所)の維持管理を行っている沿線4地区の保存会の維持管理や活動に対する助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 【中山道岡瀬沢保存会】 甚平坂公園及びトイレの清掃(月2回 延べ168名[7名×24回])、全会員による一斉清掃(1回)
- 【武並地区中山道保存会】 地区内中山道の清掃活動(年2回 延べ40名)
- 【中山道西行保存会】 西行苑便所及び周辺の清掃(年3回 延べ40名)
- 【中山道四ツ谷地区保存会】 四ツ谷集会所トイレ(一般開放)の清掃・管理(週1回)、草刈り清掃(年2回)

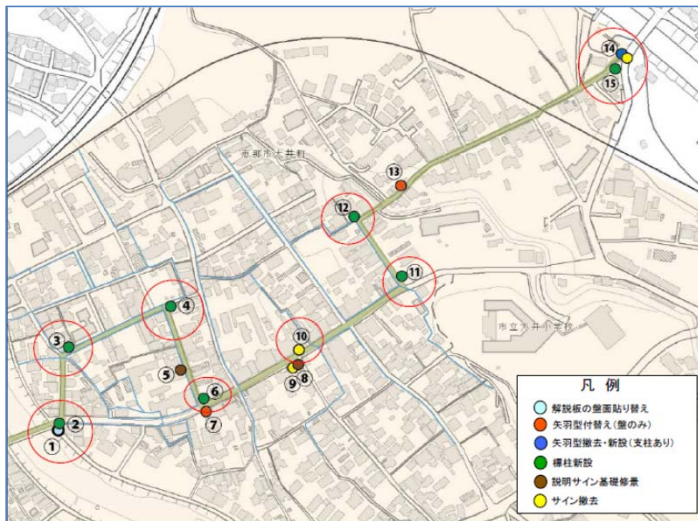
中山道沿線の草刈り、利便施設の維持管理の様子



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
案内板設置事業(宿場町大井地区)			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成28年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業		
計画に記載している内容	文化財や歴史的建造物等を紹介し、物語性を加えて誘導案内することで、点在する文化財等を有機的に繋げ、来訪者の回遊性を高めて、地区の歴史的風致の情報発信を効果的に行うなど、歴史的風致を生かしたまちづくりを進めることが可能となる。 またこうした取組みを行うことで、地域住民の歴史文化に対する意識の高揚を図り、歴史的風致の維持向上を図る。 事業概要：設置時期等により、様々なデザインとなっている案内看板について、歴史的な町並みへの景観に配慮し、統一的なデザインで新設・改修する。 設置にあたっては、来訪者や市民の回遊性を向上させるために、設置位置についても配慮する。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成27年度に実施した基本設計・実施設計を元に、案内板の設置を行った。 案内看板1基、標柱設置7基、矢羽型看板4基			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



設置場所地図



⑭矢羽型撤去・新設(支柱あり) 完成



①解説板の盤面貼り替え 完成写



①標柱新設 完成写

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
ふるさと文化普及継承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 宿場町大井地区を中心として、文化財等の文化遺産について、広く市民、来訪者に啓発することにより、歴史文化に対する意識の向上を図る。また、祭礼行事や歴史文化に関する伝承や後継者を育成することにより後世に渡って良好な歴史的風致を維持することができる。
 事業概要:文化財等の保存・活用に関わっている団体やまちづくり協議会等の地域組織と連携をとりながら、文化財等の普及啓発活動を行う。また、地域住民や学校などに働きかけイベントや講習会の実施、歴史遺産の調査を行うことで歴史文化に関心をもっていただくとともに、後継者の育成に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

中山道大井宿内の中山道ひし屋資料館で筑前琵琶の演奏会、大井栄舞体験を実施し、伝統芸能に触れる機会を提供した。
 地区内の小学校では、年間を通じた総合学習で地域の伝統芸能(大井文楽)や日本の伝統文化(茶道、琴、太鼓)の体験学習が行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 【中山道のれんコンテスト】11/3～11/23 大井町・長島町の中山道沿い 参加者数300名
- 【筑前琵琶演奏会】10/17 中山道ひし屋資料館 参加者数100名
- 【大井栄舞を体験】10/15 中山道ひし屋資料館 参加者数 20名(スタッフ含む)
- 【大井小学校6年生総合学習「日本の伝統文化を学ぶ」】参加者数 54名
- 【中央図書館 歴史講座「地名に残る大井城はどんな城？」】7/31 参加者数 51名
- 【恵那市伝統芸能大会】2/19 参加者数892名(出演者190名含む)

筑前琵琶演奏会



大井栄舞



歴史講座



伝統芸能大会



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
明治天皇大井行在所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)
市単独事業

計画に記載している内容
 当行在所は、明治天皇巡幸の当時の座敷、風呂場、便所がそのままの姿で保存されていると同時に、宿場町の町家の姿をよく残している。しかしながら増改築により当時の面影が失われつつあるため、本事業により修復・改修する。
 現在一般公開を行っているが、今後はそれに加え、住民の活動の場として幅広く活用することで、地域住民の歴史文化に対する意識の高揚を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(工事のため、平成28年6月から閉館中)
 行在所の隣地を購入し、工事における中庭への進入路として確保した。また、中庭にある土蔵は老朽化が激しいため、解体工事を行った。
 行在所近隣の自治会代表者等から構成される、行在所活用検討委員会が新たに発足し、行政も含めて行在所整備後の施設運営や活用について話し合う機会が設けられた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成29年度～平成30年度 行在所主屋改修工事実施

状況を示す写真や資料等

整備イメージ



行在所検討委員会役員会
 行在所近隣の自治会代表や有識者代表から構成される行在所検討委員会の役員会
 再開館後の運営方法や利活用について検討

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の修理や整備にあたっては、文化財の種類に応じ、関係法令を遵守し、適正な手続きによる対応をすることとする。また、修理にあたっては史料に基づいた修理を基本とし、周辺の文化財等の整備状況と整合させながら整備を行うものとする。
 一般的な方針は「①恵那市全体に関する事項」のとおりであるが、城下町岩村地区においては、「重要伝統的建造物群保存地区」、「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」、「木村邸」、「岩村城跡」、「岩村町秋祭行事」について、順次事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度から実施してきた岩村地内の市指定文化財「浄光寺」の保存修理工事が平成28年度に完成した。

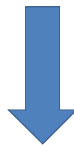
進捗状況 ※計画年次との対応

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

着工前(浄光寺全景)



完成(浄光寺全景)



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
文化財の防災			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財を火災や盗難から守るためには、文化財及びその周辺の状況を事前に把握しておく必要があるため、消防本部、警察署等と市内の文化財について建造物を中心に所在場所の情報を共有し連携を強化するとともに、査察を行ったり啓発ポスターを配布したりすることにより予防に努め、主要な建造物の消火訓練や連絡体制の確認を行い文化財の防火防災に対する意識の高揚を図る。
 盗難、毀損等の人的な災害に備えるため、担当課署は歴史的建造物のパトロールを随時行う。
 また、消防設備の整備にあたっては、周辺の景観に調和したものとし、今後修理が行われる「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」や「木村邸」については、火災報知機等の設備の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年11月6日 2016いわむら城下おかげまつり火災予防パレードを開催(参加者数 107名)
 平成29年1月21日 岩村町内の重要伝統的建造物群保存地区において、こども夜回りを実施(参加者数 40名)
 平成29年1月27日 岩村歴史資料館(参加者数5名)、中山道ひし屋資料館(参加者数9名)で防火訓練を実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

火災予防パレード…少年消防隊岩邑小学校隊員を先頭に市消防音楽隊、らっぱ隊、地元自治会、消防関係者等が岩村町本通りを行進した。



こども夜回り…市少年消防隊岩村地区隊員と市女性防火クラブ岩村支部、岩村城下町まちなみ保存会などが参加した。



岩村歴史資料館での防火訓練の様子



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を作り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努める。
 市内の小中学校の児童・生徒に、地域の祭礼等伝統行事を郷土学習として学ぶよう学校を通じて依頼することにより担い手をつくり、伝統的な祭りを維持していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を創り出すことにより、文化財保護の普及・啓発に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

平成28年度に行った主な行事

- 4月 市指定文化財「釈迦涅槃像刺繍画軸(しゃかねはんぞうししゅうがじく)」修復特別記念公開 参加者数200名
- 12月 国指定史跡正家廃寺跡発掘調査現場説明会 参加者数50名
- 8月27日 第32回岩村城址新能 来場者数337名、スタッフ等103名
- 5月15日/7月30日 岩村城清掃活動 参加者数280名(112名+168名)
- 4月～11月 ひし屋資料館お茶会 参加者数423名(こども園332名+茶道連盟91名)
- 随時 中山道広重美術館特別企画展 来場者数11,628名(春季2,901名、秋季8,727名)

新能



正家廃寺現地説明の様子



中山道美術館春季特別展



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
岩村「重伝建地区」の町屋改装 ゲストハウスが開業	H28.5.1	中日新聞、岐阜新聞ほか
住民パワーが歴史守る 恵那市で中部歴史まちづくりサミット	H28.10.19	岐阜新聞、中日新聞ほか
のれん、旧中山道彩る	H28.11.16	岐阜新聞、中日新聞ほか
山岡歌舞伎公演、舞台におひねり 小中学生参加	H28.12.8	岐阜新聞、中日新聞ほか

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本計画重点地区の1つである岩村町では、地域有志によるまちづくり会社が空き家になっていた町屋を改修し、4月30日にゲストハウスとして開業したり、古い町並みや城跡を活用し、様々なイベントを仕掛けるなど、住民が主体となった活動が数多く紹介された。

10月には中部地方の認定12市町の首長が一同に会する中部歴史まちづくりサミットが恵那市で開催され、新規認定3市の紹介とともに、各都市の取り組みについて首長が意見交換し多くの媒体でも取り上げられた。

当市の歴史的風致の1つである地歌舞伎や伝統芸能の活動について、各地域で小中学生が積極的に参加している記事が多数掲載され、伝統文化を広く知らせた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



【左列】中部歴史まちづくりサミットの様子
 【右列】中部歴史まちづくりサミットのちらし(両面)
 平成28年10月19日開催 / 当日参加者数 約150名
 「恵那市でしかできないおもてなし」をコンセプトとし、公式キャラクターによるお出迎えや、中学生による太鼓披露でサミットの開催に華を添えた。

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成28年度

項目

歴史的風致に対する市民意識の向上

計画に記載している内容

本市の歴史資源などを紹介するパンフレットを一層充実し、各種イベントやシンポジウムの開催時などに配布する。また合わせて、歴史文化を紹介する市のホームページの充実を図る。また、地域活動組織やNPO等と行政の協働による講演会の開催を行い歴史的風致を活かしたまちづくりを進める。
企画段階から市民に参加してもらい、市民の文化財や地域に対する理解と愛着を増進させることにより意識の向上を図り、文化財の保存・活用、まちづくりに繋げていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成29年3月の「恵那市市民意識調査」における結果の中で、歴史・文化に対する現状と、過去1年間に地域のまちづくり活動等に参加したかを尋ねる設問があり、今後も継続的に結果を見ていくことで、歴史まちづくりの効果を経年的に把握する。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

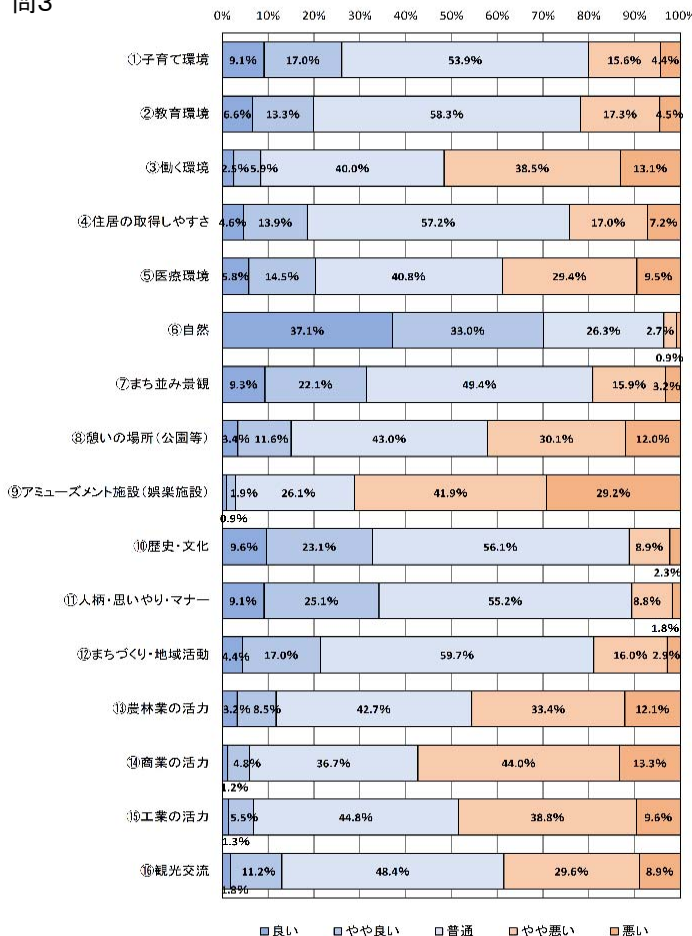
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

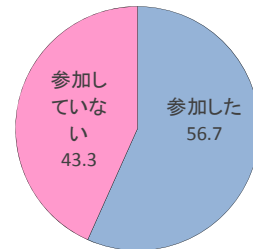
○恵那市市民意識調査 問3「あなたは、今の恵那市の状態を、どのように感じていますか。」
歴史・文化： 良い(9.6%) やや良い(23.1%)
地域の文化資源に愛着を感じる人が増えれば、「良い」「やや良い」の割合が増加すると推察される。

○恵那市市民意識調査 問29「あなたは、過去1年間に、地域の町づくり活動やボランティア活動に参加しましたか。」 参加した(56.7%)
参加した割合が増えれば、まちづくりに繋がる住民意識が高まっていることが推察される。

問3



問29



n = 1346

問29 地域のまちづくり活動等への参加状況(単数)

	全体	参加した	参加していない
n	1,346	763	583
%	100.0%	56.7%	43.3%

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成26 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	(1)歴史資源の魅力の向上及び活用の促進 地域の歴史資源に対する調査を順次実施し、必要に応じて復原や修理、修景を施すなど、長期的な視野で歴史資源の保全と活用に取り組んでいく。
計画に記載している課題	◆文化資源のネットワークの構築及び新たな価値付けに関する課題 市民が地域の歴史文化を誇りに思い保全してもらうためには歴史資源の関連性をもたせたネットワークの構築が必要であるが、必要な調査が多く地域で実施されていない状況である。
対応する進捗評価項目とその推移	<p>①計画実現のための体制 「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間との連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。 市歴史的風致維持向上計画協議会において、事業の評価報告等を行った。</p> <p>③木村邸整備事業 外構の整備工事を実施した。(木塀設置、庭の雨水排水及び植栽・石造物・井戸屋形整備、自動火災報知機の設置)</p> <p>③岩村城登城道整備事業 登城路修景工事を実施した。(岩村藩主邸跡前－岩村城址公園 L=116.3m 側溝工、舗装版破碎工、舗装工(脱色カラー)、樹脂舗装工) 地域ボランティアによる登城道周辺草刈り・清掃作業に対する助成を行った。 岐阜県の主要観光資源誘客強化事業を活用し、登城道から出丸広場の未舗装部分の路面舗装及び出丸広場のトイレに浄化槽を設置した。 岐阜県の同事業により、登城道に案内看板を設置した。</p> <p>③中山道保存修景整備事業 沿線4地区の保存会が実施している中山道及び沿線の便利施設(公園、休憩所等)の維持管理活動に対する助成を行った。 沿線の便利施設の1つである甚平坂公園の歩道修繕を行った。</p> <p>③案内板設置事業(宿場町大井地区) 国内外からの来訪者にわかりやすく、既設看板と統一された看板整備となるよう検討した。検討内容や現地調査を元に基本設計及び実施設計を行った。</p> <p>③明治天皇大井行在所整備事業 行在所の隣地を購入し、中庭への進入路を確保した。また、老朽化が激しい土蔵の解体工事を行った。 行在所近隣の自治会代表者等から構成される、行在所活用検討委員会が新たに発足し、行在所整備後の施設運営や活用について話し合う機会が設けられた。</p> <p>④文化財の修理(整備を含む) 伝建地区内の町屋の保存修理、木村邸の保存修理を実施した。 市指定文化財浄光寺の保存修理工事を3年間でを行った。</p> <p>④文化財の防災 文化財防火デーに因み、市内資料館で防火設備の取扱説明及び防火訓練を実施した。 岩村重伝建地区内において、子ども夜回りを実施した。 秋季全国火災予防運動と「いわむら城下おかげまつり」の日程に合わせ、岩村本通りで火災予防パレードを実施した。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>H23年度から整備を始めた木村邸の整備はH26年度に完了し、同じ重点区域内にある他の歴史的建造物とともに観光資源としても活用されている。</p> <p>岩村城登城道は、地域のボランティアによる草刈や清掃作業が継続的に行われている。また登城路の一部を修景工事し、足元や外観が良くなったため、岩村城跡への来訪者が増加していると推察される。</p> <p>●岩村城跡入込数 44,482人(H26)→47,093人(H27)→集計中(H28)</p> <p>大井宿では行在所の整備事業が始まるため、主屋の改修工事が進めば地域の歴史的風致の向上に影響が波及すると予想される。また、案内板の設置により、今後観光客の回遊性の向上に貢献することが期待される。</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p>■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p>■計画の見直しが不要 □計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成26 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>(2)町並みの整備、保全 地域が有する歴史的な文脈を踏まえた歴史資源の修理・修景整備を進める。 空き家を活かし、町並みが途切れないようにすることにより町の魅力を高めていく。</p>
計画に記載している課題	<p>◆歴史的建造物、町並みの保存に関する課題 歴史的な趣の残る建築物の取り壊しが行われ、空き家の増加が町並みの連続性を失う要因となっており大きな課題となっている。 ◆まちなかに見られる景観阻害要因に関する課題 張り巡らされた電線類や屋外広告物など景観阻害要因が増えてきており、歴史的風致の維持及び向上を図る上で大きな課題となっている。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>①計画実現のための体制 「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間との連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。 市歴史的風致維持向上計画協議会において、事業の評価報告等を行った。</p> <p>②重要伝統的建造物群保存地区での取り組み 保存地区内の建物の現状変更には、保存計画に定める方針・基準に従い、岩村城下町まちなみ保存事業を活用しながら実施。必要に応じて国県の指導・助言を受けている。保存は毎年度計画的に実施。</p> <p>②景観形成に関する取組について 景観重要建造物・樹木の指定、屋外広告物条例の制定等について景観審議会で審議を行った。 市屋外広告物条例がH28年4月1日に施行となった。</p> <p>③岩村城石垣修理事業 県事業により、石垣支障木・危険木の伐採・枝打ちを実施した。 地域ボランティアによる草刈り、清掃作業を実施した。</p> <p>③木村邸整備事業 外構の整備工事を実施した。(木塀設置、庭の雨水排水及び植栽・石造物・井戸屋形整備、自動火災報知機設置)</p> <p>③岩村城下町まちなみ保存事業 伝建地区内の伝統的建造物の修理修景に助成を行った。</p> <p>③岩村城登城道整備事業 登城路修景工事を実施した。(岩村藩主邸跡前—岩村城址公園 L=116.3m) 地域ボランティアによる登城道周辺草刈り・清掃作業に対する助成を行った。 岐阜県の主要観光資源誘客強化事業を活用し、登城道から出丸広場の未舗装部分の路面舗装及び出丸広場のトイレに浄化槽の設置、登城道に案内看板を設置した。</p> <p>③歴史的町並み修景整備助成事業</p>

	<p>寄付により行在所を市が取得することとなり、修景について庁内及び地域住民と検討した。</p> <p>ガイドラインの作成、修復修景事業の助成に対する要項については、引き続き作成していく。</p> <p>③ポケットパーク整備事業(宿場町大井地区)</p> <p>整備に向けた基本構想を作成し、それに基づいた有効的な活用を庁内で検討した。</p> <p>上宿ポケットパーク:H26 土地の取得、H27 整備、完了 大井宿ポケットパーク:H26 整備方針検討、H27 地域住民との協議、H28 設計</p> <p>③道路美装事業(宿場町大井地区)</p> <p>市外他地区の中山道の整備状況を現地確認し、舗装の種類、歩車道の分離等、まち並みに配慮した整備を行うため、庁内で基本方針を検討し、地元の意見も取り入れつつ、その結果を元に設計を実施した。</p> <p>③明治天皇大井行在所整備事業</p> <p>行在所の隣地を購入し、中庭への進入路を確保した。また、老朽化が激しい土蔵の解体工事を行った。</p> <p>行在所近隣の自治会代表者等から構成される行在所活用検討委員会が新たに発足し、行在所整備後の施設運営や活用について話し合う機会が設けられた。</p>
<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>伝建地区内の伝統的建造物の修理修景に対して引き続き助成を行っている。これにより地区内の町並みはかなり整い、来訪者の数が増加していることから効果が現れているといえる。また、地域のまちづくり会社が空き家になっていた町屋を改修し、H28年4月ゲストハウスとしてオープンさせた。</p> <p>●伝統的建造物修理修景件数 H26:4件 H27:9件 H28年:5件</p> <p>屋外広告物条例がH28年4月1日施行となり、H24年度から施行されている景観条例とともに市内の美しい景観形成に寄与することが期待される。</p> <p>●景観届出等実績 H26 行為届出件数:事前協議34件、届出29件 H27 行為届出件数:事前協議34件、届出23件 H28 行為届出件数:事前協議32件、届出31件</p> <p>●景観重要建造物 指定3件(H27.11) ●景観重要樹木 指定2件(H28. 6)</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p>■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p>■計画の見直しが不要 □計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成26 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>(3)歴史的風致に対する市民意識の向上 歴史的風致の維持及び向上を行うための担い手である市民の意識の向上を図るため、地域活動組織やNPO等と行政の協働による歴史的風致を活かしたまちづくりを進める。</p>
計画に記載している課題	<p>◆文化資源のネットワークの構築及び新たな価値付けに関する課題 市民が地域の歴史文化を誇りに思い保全してもらうためには歴史資源の関連性をもたせたネットワークの構築が必要であるが、必要な調査が多く地域で実施されていない状況である。 ◆文化財の保存・活用を行うための施設に関する課題 町屋等在来の建物を活用した公開施設は、各施設の特徴が明確化されていない点が課題である。 文化財に関する説明板や案内表示については、説明板は一部の指定文化財にあるのみで、現地での所在がわかりにくく、個別の表示のほか現地までの案内表示が課題である。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③木村邸整備事業 外構の整備工事を実施した。(木塀設置、庭の雨水排水及び植栽・石造物・井戸屋形整備、自動火災報知機を設置) ③岩村城下町まちなみ保存事業 伝建地区内の伝統的建造物の修理修景に助成を行った。 ③案内板設置事業(宿場町大井地区) 国内外からの来訪者にわかりやすく、既設看板と統一された看板整備となるよう検討した。検討内容や現地調査を元に基本設計及び実施設計を行った。 ③ふるさと文化普及継承事業 地域住民や学校などに働きかけ、イベントや講習会を実施した。 ③歴史まちづくり推進事業 明治天皇大井行在所の運営について、運営委員会において検討した。行在所を中心とした大井宿の歴史・文化を活用したまちづくり、観光について議論するため、関係団体による検討準備委員会を設立した。 H26年度には、所有者の協力の下、大井宿場内の歴史的建造物(1軒)の調査を実施した。 ③明治天皇大井行在所整備事業 行在所の隣地を購入し、中庭への進入路を確保した。また、老朽化が激しい土蔵の解体工事を行った。 行在所近隣の自治会代表者等から構成される、行在所活用検討委員会が新たに発足し、行在所整備後の施設運営や活用について話し合う機会が設けられた。 ③文化財の普及・啓発 市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を創り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努めた。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>明治天皇大井行在所は、観光施設としてだけでなく、大井宿の歴史や文化を活用したまちづくりの拠点施設としての在り方を議論するため、何度か組織を変えてきた。H28年度からは主屋改修前の準備工事が始まり、近隣の自治体代表者等も含めた行在所活用検討委員会が発足し、整備後の運営や活用について議論が始まった。今後も議論を重ね、地元住民の地域への愛着や自主的なまちづくりにつながることを期待している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ひし屋資料館・行在所来訪者数 7,866人(H26)→8,882人(H27)・・・9,000人(H30目標) ●まちづくり活動に参加した人の割合 68.9%(H27)→56.7%(H28)・・・55.0%(H30目標)
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成26 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>(4)歴史的風致を維持する伝統文化の担い手の育成 担い手の育成のため、誰もが気軽に学び、触れることができる拠点施設を設け、後世に正しい形で地域の歴史と文化を継承できるようにする。 市内の歴史的風致を継承する団体に対し支援を行う。</p>
計画に記載している課題	<p>◆伝統行事など地域の歴史文化を支える担い手不足に関する課題 地域の歴史、伝統文化を受け継ぎ、地域の一体性を確保するため、担い手不足をどのように補い、多くの人に参加してもらおうかが課題となっている。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③岩村城石垣修理事業 県事業により、石垣支障木・危険木の伐採・枝打ちを実施した。 地域ボランティアによる草刈り、清掃作業を実施した。</p> <p>③祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼) 秋祭行事の祭具や衣装の修理・補充を行った。また行事運営についても助成を行った。 岩村町獅子舞の保存活動を行う保存会に対して、伝承活動助成を行った。</p> <p>③ふるさと文化普及継承事業 地域住民や学校などに働きかけ、伝統技能の体験イベントや講習会を実施した。</p> <p>④文化財の防災 文化財防火デーに因み、市内資料館で防火設備の取扱説明及び防火訓練を実施した。 岩村重伝建地区内において、子ども夜回りを実施した。 秋季全国火災予防運動と「いわむら城下おかげまつり」の日程に合わせ、岩村本通りで火災予防パレードを実施した。</p> <p>④文化財の普及・啓発 市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を創り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努めた。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>継続的に実施されている岩村城跡の城山清掃には、地域の諸団体だけでなく中学生も参加しており、地域の歴史に触れる機会の一つになっている。 伝統文化を体験する機会として、小学校の総合学習における体験学習だけでなく、一般向けの講座も実施し、担い手の育成につなげている。</p> <p>●城山清掃参加者数 256人(H26)→278人(H27)→280人(H28)</p> <p>●講座参加者数 大井小6年生総合学習 47人(H26)→28人(H27)→54人(H28) 大井栄舞体験 50人(H26)→41人(H27)→20人(H28)</p>

<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない (要改善事項) </p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針) </p>

評価対象年度 平成26年度～ 28年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

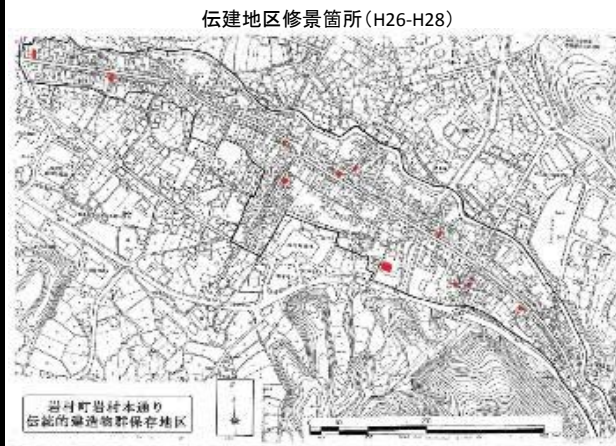
代表的な取り組み①:

岩村城下町まちなみ保存事業

(取り組み概要)

平成10年度から伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物の修理修景に対する助成を行っており、毎年度数件ずつの助成実績がある。

また同保存地区では、20年以上前から空き家であった元染物工場を活用し、地域の有志で立ち上げたまちづくり会社が改修後、平成28年4月にゲストハウスとしてオープンさせた。



(自己評価)

観光入込数が概ね増加傾向にあることから、この事業によって「古い町並み」としての景観が整備され、その効果が発揮されつつあることが推察される。

ゲストハウスについては、補助金を活用しながらも、実施主体は地域住民によるまちづくり会社であり、地域の人々が自らの力でまちの活性化に取り組む事例となっている。地域の人々が感じる地元への愛着や歴史に対する意識のより一層の向上が期待される。

観光地点イベント入込数(岩村城下町)の推移



(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):堀田典裕(名古屋大学大学院工学研究科助教)

・外部評価実施日:平成29年2月22日

・有識者コメント:岩村城下町まちなみ地区では、近世を基調としながらも、近現代の暮らしの痕跡を取り入れた修景が見て取れ、近世以来の伝統的まちなみが、持続可能な「古いまちなみ」として捉えられている点において、大いに評価される。保存対象地区の染物工場が、地元有志によってゲストハウスとして改修された際、格子等による安易な近世まちなみへの復旧や復元ではなく、木製建具のガラス窓が再整備され、既存のタバコ・ショーケースが積極的に保存された。このように、統一された木製建具のガラス窓と、近代商店の軒先に設けられたショーケースは、岩村城下町まちなみ地区の特徴的なデザイン要素であり、これまでも「ひなまつり」などに大いに活用されて来た。今後も、単なる復旧や復元に止まらない持続可能な「古いまちなみ」を目指すべく、ハードとソフト両面の整備が期待される。

(今後の対応方針)

岩村の町並みの特徴を住民や設計・工事に携わる方々に理解していただくために啓発を行うとともに、伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物の修理や修景に対する助成を引き続き行い、町並みの保存を図る。

今後は、代替わりした所有者への制度説明や空き家対策にも取り組む必要がある。

評価対象年度 平成26年度～ 28年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み②:

岩村城登城道整備事業

(取り組み概要)

地元団体や学生、住民のボランティアによる年2回の登城道周辺の草刈や清掃作業に対して助成を行っている。

平成26年度には、県の主要観光資源誘客強化事業を活用し、岩村藩主邸跡前から岩村城址公園までの登城路(116.3m)の修景工事(側溝工、舗装版破碎工、舗装工<脱色カラー>、樹脂舗装工)を施行した。

また平成28年度には県の同補助により、出丸広場入口に至る部分の未舗装部分の舗装及び出丸広場にあるトイレに浄化槽の設置、登城道に案内看板(全29基)を設置した。

H26年度 登城路修景工事 施行前



施行後



H28年度 案内看板 設置

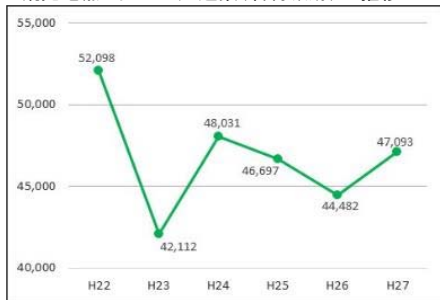


(自己評価)

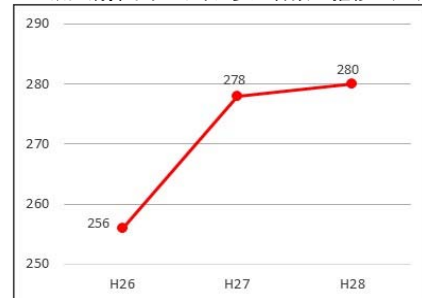
地元の人々の草刈や清掃作業への参加は、地域の歴史や伝統を再認識することになり、地域に対する愛着と誇りを形成することに結びつくと考えられる。参加者数が増加傾向であるため、地域への意識の高さが伺える。

入込数の推移を見ると平成26年度以降は増加していることから、清掃や整備工事により美観が整いつつあることで、岩村城跡を訪問する人の数に影響があると考えられる。

観光地点・イベント入込数(岩村城跡)の推移



城山清掃ボランティア参加者数の推移 (人)



(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):堀田典裕(名古屋大学大学院工学研究科助教)

・外部評価実施日:平成29年2月22日

・有識者コメント:ボランティアによる清掃活動や整備活動によって、登城道路の一部が整備され、歩車ともに登城道路へのアクセスがし易くなった。視察最中に登城道路入口に自動車が迷い込み、立ち往生する光景に出会したが、登城口の適当な場所に自動車の乗り入れを制限する柵等を設ける必要がある。また、今後も観光客は一層増加することが予測され、歩車の交通計画を整備し、明示する必要がある。この意味において、町づくり団体「城下町ホットいわむら」によって設けられた歩行者案内看板は、現地で在りし日の岩村城をCG再現できるQRコードを記載しており、『毎日新聞』(平成28年9月7日付)に取り上げられたことからわかるように、先進的取り組みとして大いに評価できる。さらに、こうした登城道路の整備と並んで、登城後の眺望を確保するための周辺樹木の伐採が望まれる。

(今後の対応方針)

・登城道の整備はかなり進んできており、今後も継続的な清掃・整備活動を実施するとともに、城跡からの眺望等 まだ手付かずの分野に関する整備にも目を向けていきたい。

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成26年度～28年度
・法定協議会等におけるコメント	
<p>コメントが出された会議等の名称： 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会</p>	
<p>会議等の開催日時： 平成29年4月13日</p>	
<p>(コメントの概要)</p>	
<p>○城下町岩村地区について 歴史的風致の整備を進めてきたことにより、観光客が増えている。観光客からは生活感があり、素朴な感じが良いとの評価を受けている。 消火訓練や防災ポスターの配布など、防火防災に対する意識の高揚を図られているが、店舗や空き家など増加により夜間人口の減少などによる火災対策が必要である。 事業計画の進捗により、地域住民が管理運営主体である団体の育成され、ゲストハウスが事業化されている。しかしゲストハウスだけでは、重要伝統建造物保存地区の誘客、交流人口が物足りない。誘客、交流人口を増加させるため、さらに事業計画を進め、民間主導により地域振興につなげる必要がある。 城跡からの眺望は、重要な歴史的な風致と考える。城跡からの眺望について、今後も取り組む必要がある。</p> <p>○宿場町大井地区について 明治天皇大井宿行在所の整備やポケットパーク整備事業に併せ、行在所などの運営を担う管理運営主体の設立に向け検討がなされている。施設等を活用する団体等が活用しやすい施設、場所となるよう検討が必要である。 修景事業により道路美装事業が施工され、中山道が一目で判断できる状況となった。今後も引き続き工事が施工されるが、広域的な観点で整備される必要がある。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p>	
<p>重要伝統建造物保存地区における防災・防火対策について、その地域の独自性を考え、住民や地域、行政とで、さらに踏み込んだ防災・防火計画事業を推進する。</p> <p>中山道に関する修景事業について、中山道の連続性を考慮し、統一した仕様により、市内・自治体間の事業を推進する。</p>	